

# 東京都市大学における女性研究者支援の取り組み③

## 理系離れ解消をめざす「科学」ともだちプロジェクト」 キャリアパスを描ける「ロールモデル発掘プロジェクト」

東京都市大学准教授・女性研究者支援室長 小川 順子

本学の女性研究者支援事業のハイライトをお伝えしてきましたが、最終回の本稿は、生徒、学生にとって有益な二つのプロジェクトを紹介いたします。

### ■科学が好き、工学をやってみよう という生徒の裾野を広げよう

中学生、高校生の理工系離れは日本のみならず世界的な傾向として憂慮されています。こうした傾向が長引くと、将来の科学技術分野の人材が不足し、国際競争力や経済発展などの面で大きな支障となります。これは、男女を問わずに顕著に見られる傾向で、本学としても力を入れているテーマです。加えて、男女の区別なく、一緒に育成していくことで、将来も性別にかかわらず、共に研究していくという姿を描けることを狙っています。具体的には、中高生が敬遠しがちな「物理」

「電気」「放射線」などを知ってもらうための実験の提供(表1)や、生涯にわたって科学的な視点の基礎となる知識、教育の現場で必要な教員向けの理科実験の指導および講義プログラム(表2)などがあります。子どもたちへの指導は、大学生が行うなどの工夫によ

り、大学生にとってもコミュニケーション能力が養えることとなります。このプロジェクトは、二〇〇九年の活動開始以来、すでに延べ二二回、二〇〇〇人あまりの中高生への実験指導を行い、大きな成果を上げています。

表1

実験名
電磁波センサーの作成
IHクッキングヒーターで光る豆電球
放射線が通る軌跡が見える霧箱
放射線の遮蔽実験
放射線の偏向実験
環境放射線の測定
電気関連実験
光関連実験
速さ(速度)の実験
その他 物理関係実験

表2

講演・講義分野
エネルギー分野
原子力関係
放射線関係
理工系大学生からのメッセージ
水素自動車
燃料電池
材料分野
理工系女性研究者からのメッセージ
その他 工学系分野

### ■就学年代に合わせたロールモデル 紹介による将来像の提案

二〇一〇年一月に本学教職員四五六名を対象にWEBアンケートをし、二二九名の回答を得ました。その中の質問に「科学技術分野

で、研究職・技術職の女性比率が低い理由」を聞いたところ、回答の一位は仕事と家庭の両立が困難、二位は女性が仕事を継続する環境が整っていない、三位はロールモデルが少ない、という結果でした。これは、就学期の女性にとって、理工系分野で活躍する女性の姿が見えにくいため、将来像が描きにくく、不安がある、ということを示しているのではないかと考えています。

そこで、女性研究者支援室としては、オンラインキャリアパスにおいて、中学、高校の女性徒に対しては、実験やコンピュータ操作をする女子学生や、建築学科で建築物や都市モデルを作る女子学生などを紹介して、大学に入学したらこんなふうにも勉強できる、という例を見せて、大学に入ってからからの自分の姿を予想できるようにしています。同時に、本学の女性研究者について紹介したロールモデル集を発行し、具体的に指導している教員の情報を提供しています。

女子大生に対しては、将来自分の研究を活かせる選択肢を拡げるため、社会で活躍する先輩たちが見えるように工夫しています。その一つは、社会の理工系の研究や仕事について、様々なデータ、資料、書籍などを備えていることです。また、本学の女性卒業生を紹介した、ロールモデル集を発行し、将来の目標を具体的に立てられるようにしています。こうした情報提供やアドバイスにより、女性学生が理工系分野に夢をもち、それが実現で



図書館展「ひらめきキラメキ輝き都市大テクノロジー」



本学研究者紹介編 ロールモデル集

きるようにバックアップをしています。三回にわたり本学の女性研究者支援の主要事業を紹介いたしました。本稿が、理工系分野の女性の活躍促進へのヒントとなり、科学技術において男女がバランス良く才能発揮できますよう、多少なりとも役に立てましたら、望外の喜びです。



高校でのエネルギー講演会



大学生が先生になって



小学生の実験教室